

令和元年度ハピリン来場者調査 実施報告書

令和元年 5 月

まちづくり福井(株)

I 調査の概要

1. 目的

ハピリン来場者の特性や行動を把握することにより、今後のまちづくりの参考とする。

2. 期間

平成 31 年 4 月 27 日(土)～29 日(月・祝)、令和元年 5 月 2 日(木)、3 日(日)の計 5 日間

※4 月 27 日～29 日：クラフト&スイーツフェスティバル（ハピテラス）

※5 月 2 日、3 日：ブルックリンマーケット in Fukui 2019（ハピテラス）

3. 対象者

ハピリンへの来場者

4. 方法

調査員がアンケート用紙を配布、記入後に回収

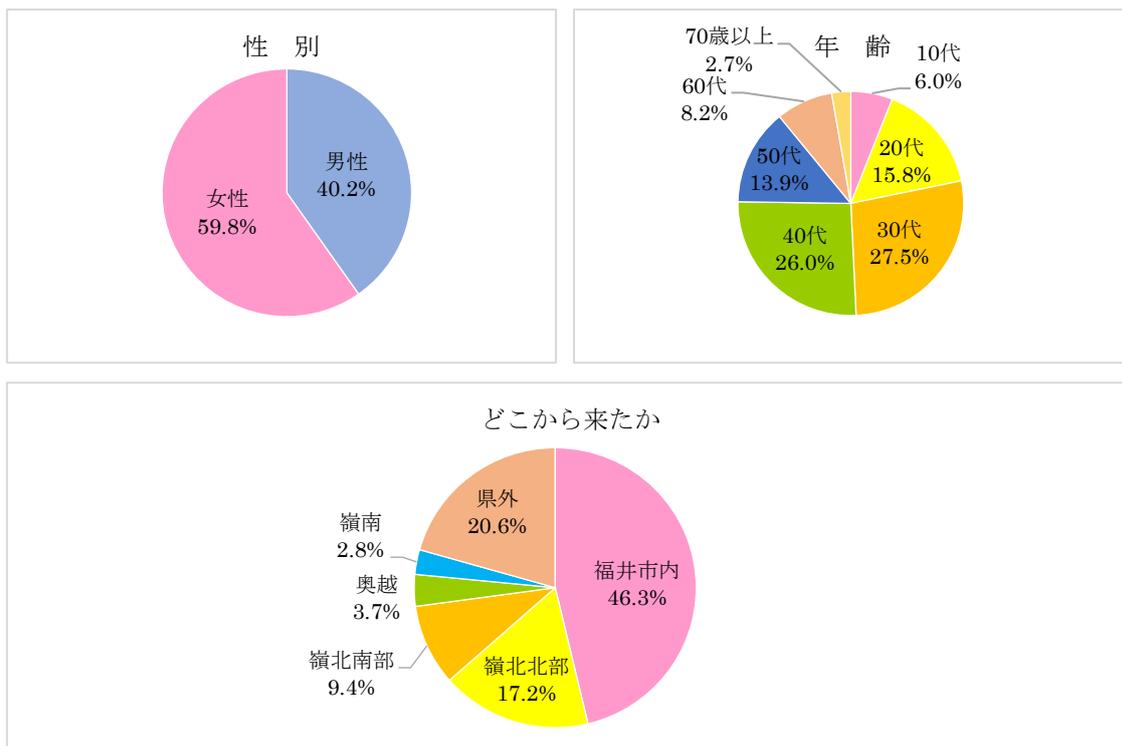
5. 実施機関

まちづくり福井株式会社

6. 回収

737 枚

7. 回答者属性

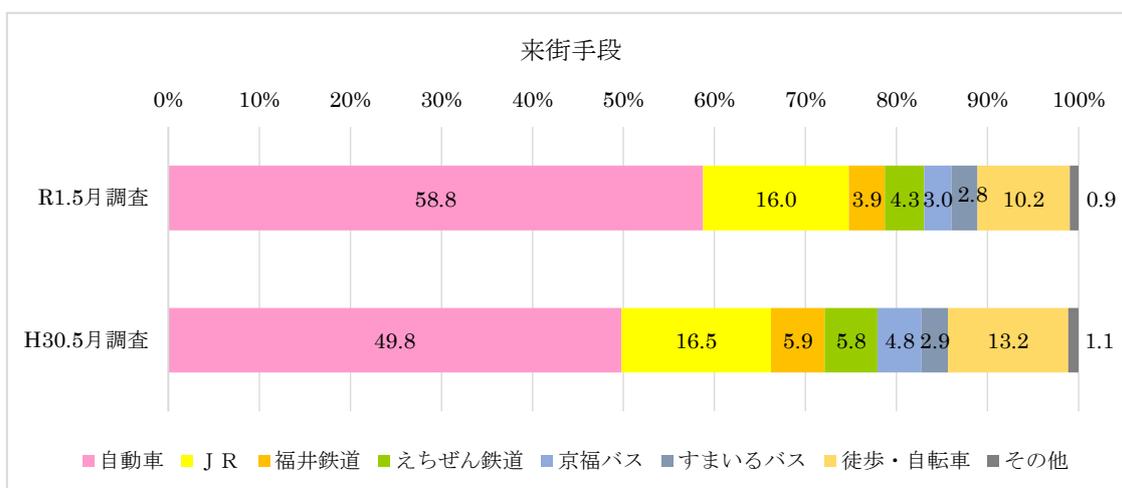


Ⅱ 調査結果

1. 来街手段

前回調査と比較すると「自動車」の利用が9ポイント増加し、公共交通全体の利用は5.9ポイント減少。

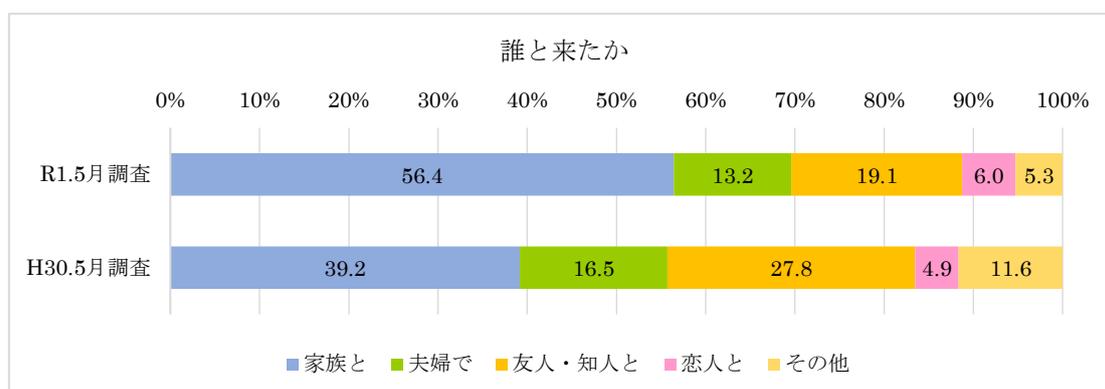
「自動車」が58.8%と最も多く、次いで「JR」が16.0%、「徒歩・自転車」が10.2%となっている。「自動車」については、前回調査時と同様に最も多く、前回調査時の49.8%と比較して9ポイント増加した。一方、公共交通全体(JR・福井鉄道・えちぜん鉄道・京福バス・すまいるバス)の利用は30.0%となっており、前回調査時と比較して5.9ポイント減少した。



2. 誰と来たか

ゴールデンウィーク中だったこともあり、前回同様に「家族と来場」が最も多く約5割を占め、前回調査と比較すると17.2ポイントの増加。

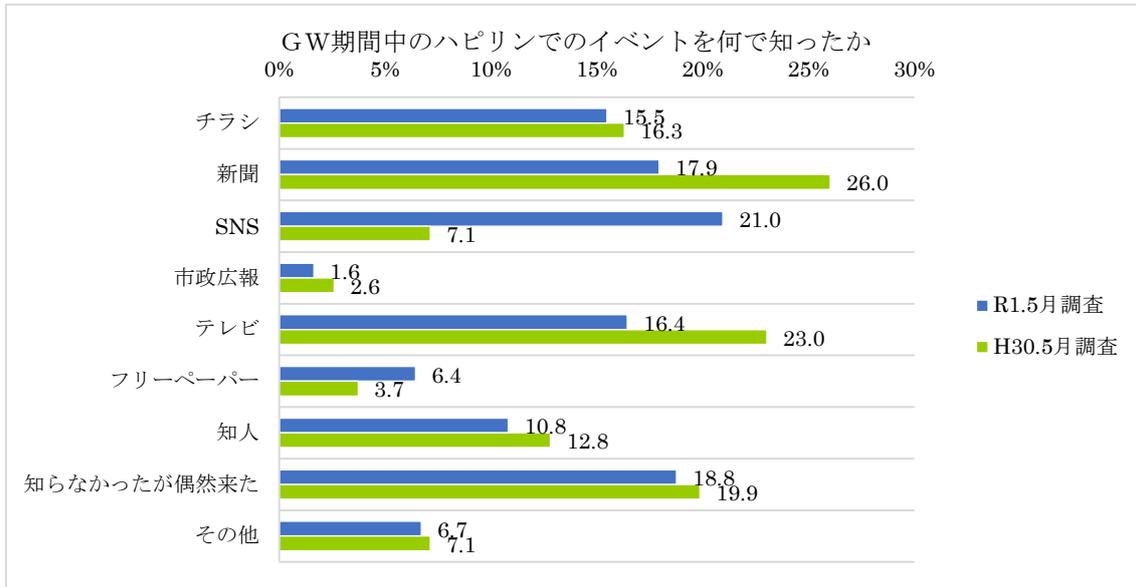
「家族と来場」が56.4%と最も多く、次いで「友人・知人と来場」が19.1%、「夫婦で来場」が13.2%となっている。前回調査時と同様に「家族での来場」が最も多く、前回調査と比較して17.2ポイントの大幅な増加がみられた。尚、「その他」の内訳をみると「1人で来場」という回答が最も多かった。



3. GW 期間中のハピリンでのイベント情報の取得方法について（複数回答）

前回調査時では「SNS」の回答は1割未満だったが、今回調査では回答数が最も多く、約2割であった。

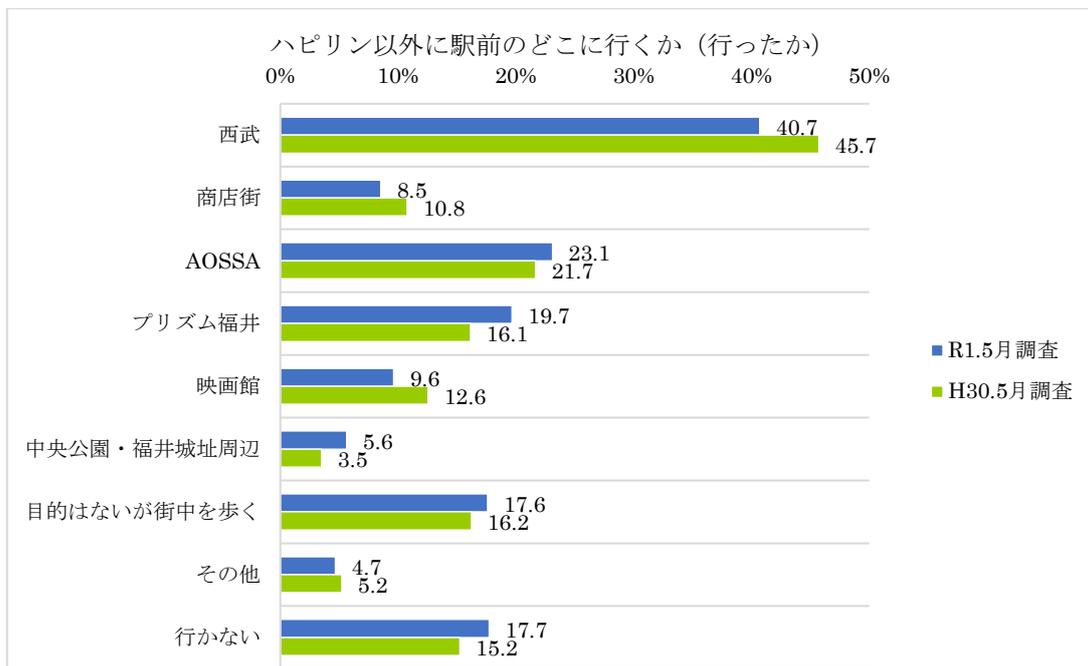
「SNS」が21.0%と最も多く、次いで「知らなかったが偶然来た」が18.8%、「新聞」が17.9%となっている。「SNS」は前回調査の7.1%と比較して13.9ポイントの大幅な増加がみられた。また、前回調査では回答数の多かった「新聞」については8.1ポイントの減少、同じく「テレビ」については6.6ポイントの減少となった。



4. ハピリン以外に駅前のどこに行くか（行ったか）（複数回答）

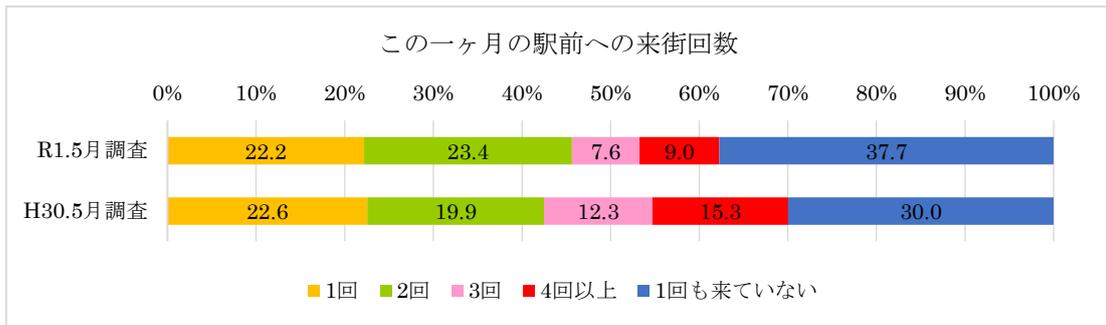
「西武」が前回調査時と同様に最も多く約4割。

「西武」が40.7%と最も多く、次いで「AOSSA」23.1%、「プリズム福井」が19.2%となっている。AOSSA、プリズム福井、西武、ハピリンといった大型施設が大きな人の流れの軸になっていることから、駅前電車通りが目抜き通りであることがうかがえる。



5. この1ヶ月における駅前への来街回数について（今回の来街、通勤、通学を除く）
「1回も来ていない」が最も多く約3割の回答。「4回以上」は前回調査時よりも6.3ポイント減少。

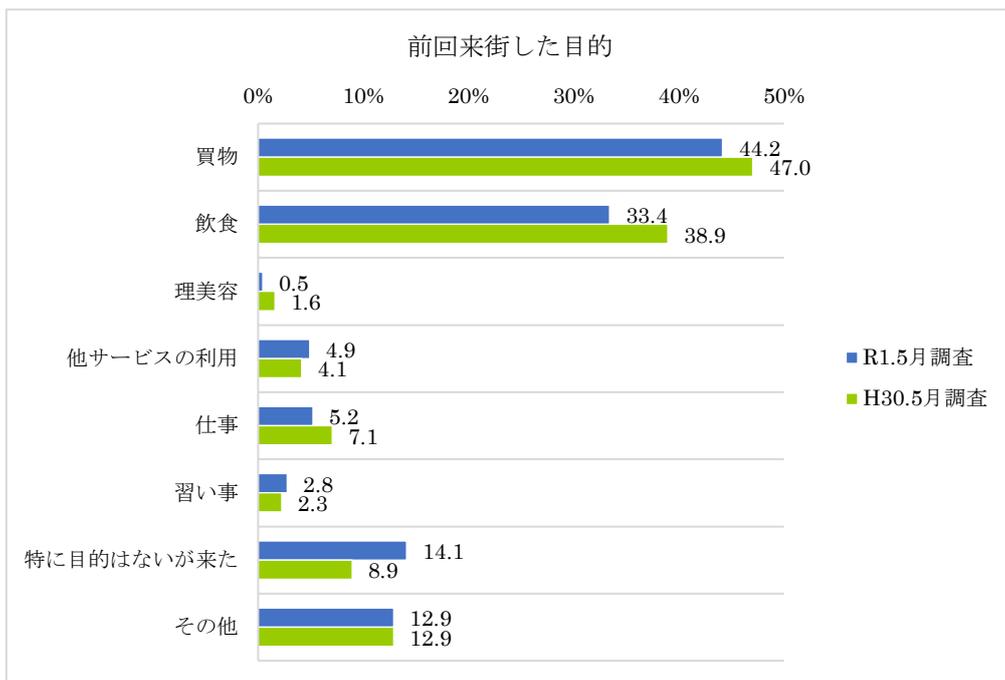
「1回も来ていない」が37.7%と最も多く、次いで「2回」23.4%、「1回」が22.2%となっている。「1回も来ていない」が前回調査時と同様に最も多く、前回と比較して7.7ポイントの増加となった。一方で、「3回」の回答は前回と比較して4.7ポイント減少、「4回以上」は前回と比較して6.3ポイントの減少となったことから、来街頻度の減少がうかがえる。



6. 来街した目的について（複数回答）

上位2項目の回答については、前回同様に「買物」と「飲食」であった。

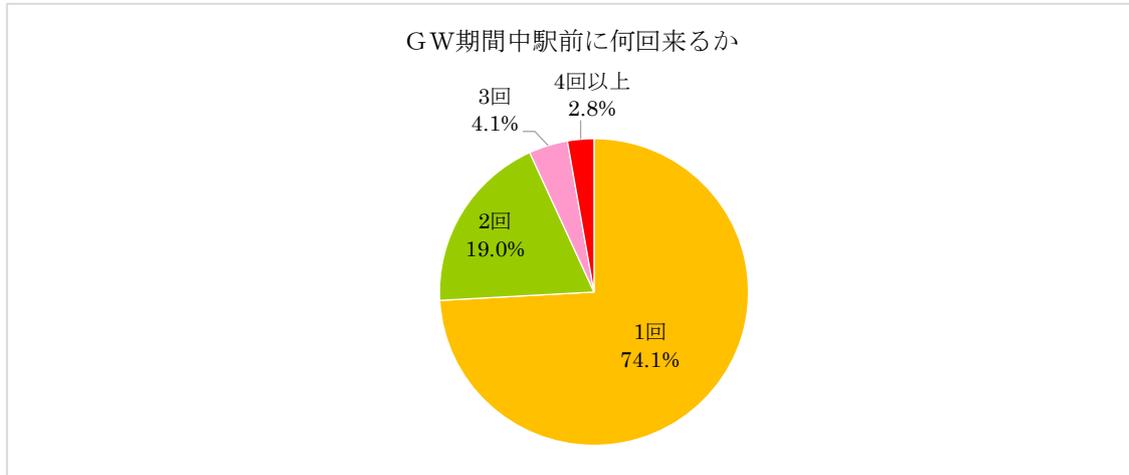
「買物」が44.2%と最も多く、次いで「飲食」が33.4%、「特に目的はないが来た」が14.1%となっている。来街の主な目的が買物と飲食であることに変わりはないが、「買物」については前回調査時と比較して2.8ポイント減少、「飲食」については前回調査時と比較して5.5ポイント減少した。また、「特に目的はないが来た」が5.2ポイント増えていることから、駅前に来れば何かあるかもというワクワク感を持った消費者が増えた可能性がある。



7. GW 期間中、駅前に何回来るか

「1回」が最も多く約7割の回答。「3回」、「4回以上」の合計は1割未満の回答。

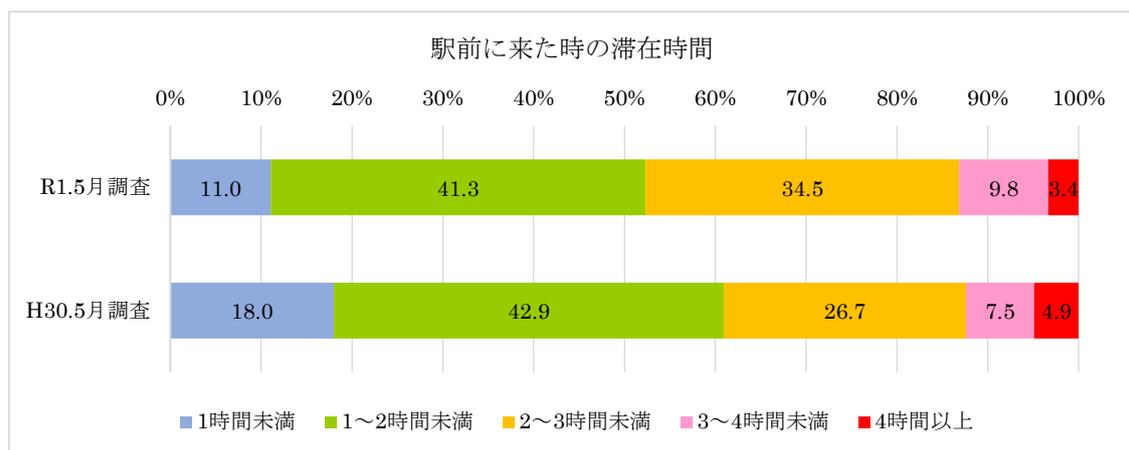
「1回」が74.1%と最も多く、次いで「2回」が19.0%、「3回」が4.1%となっている。3回以上の来街については、全体の6.9%となっており、GW期間中は駅前で時間を過ごす一定の層が存在していることが分かった。



8. 駅前に来た時の滞在時間はおおむねどのくらいか

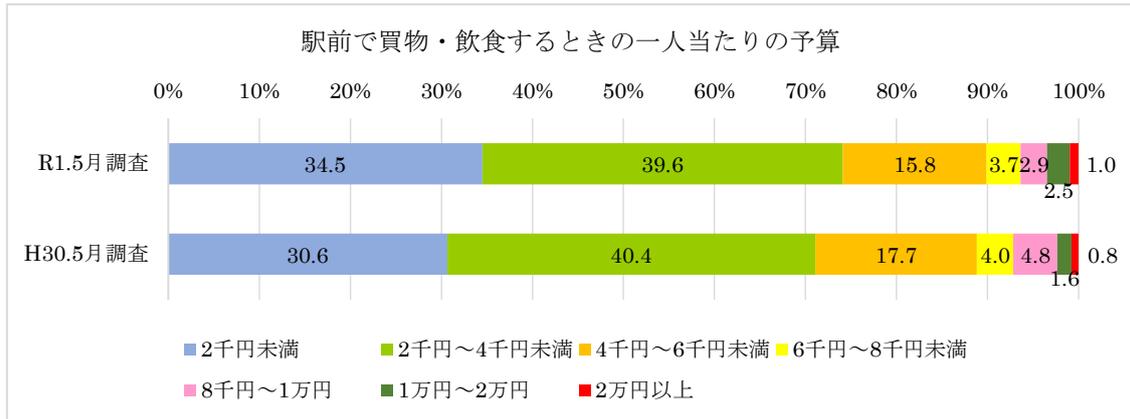
1時間未満の回答は前回調査時よりも減少し、2時間以上の回答が前回調査時よりも増加。全体的にみて来街者の滞在時間が長くなった。

「1～2時間未満」が41.3%と最も多く、次いで「2～3時間未満」が34.5%、「1時間未満」が11.0%となっている。前回調査時と比較して「1時間未満」は7ポイント減少、「2～3時間未満」は7.8ポイント増加、「3～4時間未満」は2.3ポイント増加しており、前回と比較して来街者の滞在時間が長くなる傾向がみられた。



9. 駅前で買物、飲食するときの一人当たりの予算はおおむねどのくらいか
 2千円未満の回答が前回調査時より3.9ポイント増加し、2千円～1万円の予算をかけるという回答は前回調査時より4.9ポイント減少。全体的にみて買物や飲食の予算の減少がみられた。

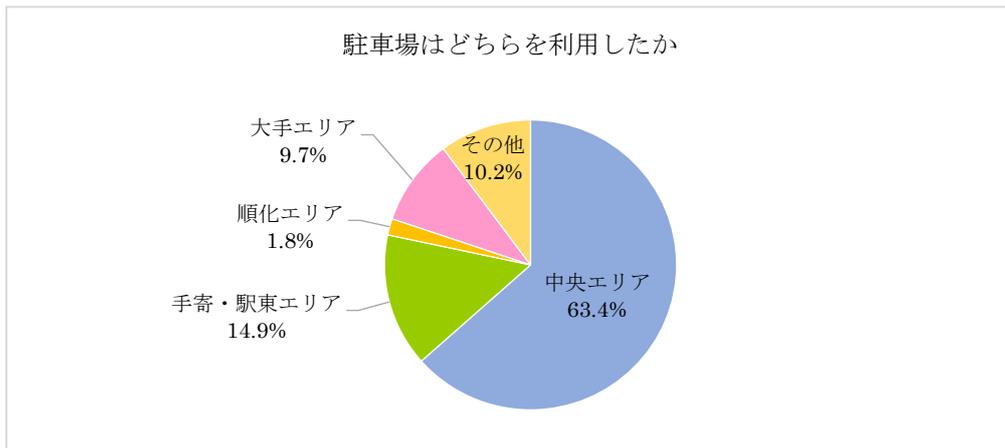
「2千円～4千円未満」が39.6%と最も多く、次いで「2千円未満」が34.5%、「4千円～6千円未満」が15.8%となっている。また、1万円以上の予算が前回調査時と比較して1.1ポイントの微増ではあるものの、「2千円未満」については3.9ポイントの増加、2千円～1万円の予算は前回調査時と比較して4.9ポイント減少していることから、前回と比較して駅前で買物や飲食をするときの予算の減少がみられた。



10. 駐車場はどのエリアを利用したか

「中央エリア」が最も多く約6割、「手寄・駅東エリア」が約1割となっており、ハピリン周辺のエリアに集中した。

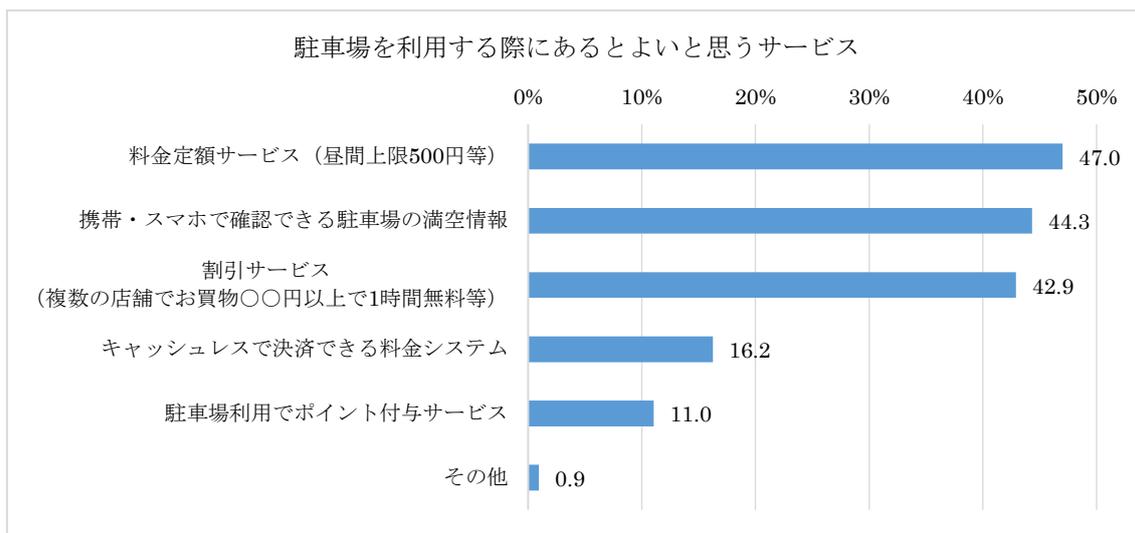
「中央エリア」が63.4%と最も多く、次いで「手寄・駅東エリア」が14.9%、「大手エリア」が9.7%となっている。また、各エリアのどの駐車場を利用したかについては、中央エリアについては「コインパーキング」が50.2%と最も多く、次いで「サカエパーキング」が14.8%、「福井駅西口地下駐車場」が13.6%、手寄・駅東エリアについては「コインパーキング」が59.6%と最も多く、「アオッサ駐車場」が28.1%、「駅東パーキング」が5.3%、「順化エリア」は「コインパーキング」が100%、「大手エリア」は「コインパーキング」が70.3%と最も多く、次いで「パーク23」が16.2%、「福井市大手駐車場」5.4%となっており、全てのエリアにおいてコインパーキングの利用が最も多い結果となった。



11. 駐車場を利用する際にあると良いと思うサービスは何か（複数回答）

「料金定額サービス」が最も多く5割近くの回答。「携帯・スマホで確認できる駐車場の満空情報」も約4割の回答となった。

「料金定額サービス」が47.0%と最も多く、次いで「携帯・スマホで確認できる駐車場の満空情報」が44.3%、「割引サービス」が42.9%となった。上位3項目については、それぞれの回答数に大きな差はみられず、いずれも4割を超える結果となった。一方で、「キャッシュレスで決済できる料金システム」は16.2%、「駐車場利用でポイント付与サービス」はわずか11.0%にとどまった。



12. 「ソライロテラス」事業を知っているか

「知らない」が約9割を占めた。

「知らない」が86.6%と約9割を占める結果となった。「ソライロテラス」は2018年5月から始めた、アップロードやガレリアポケット等の公共空間を利用して、毎週日曜日にオープンテラスやイベント等を行う事業である。事業開始から2年目となる今年度の課題として、広報を充実させる必要があることが浮き彫りになる結果となった。

